AIで心躍る未来を

NEURAL

2025年12月期（第8期）
第1四半期決算説明資料

ニューラルグループ株式会社
2025年5月12日

Q1決算のハイライトと、事業戦略のアップデート

2024年度の振返り

- 2024年度は、当社として**3期ぶりの営業黒字決算**となりました。第4四半期は、単独四半期としては創業以来の最高売上（995百万円）と最高営業利益（117百万円、営業利益率11.8%）を同時に実現し、2025年度以降の成長の基盤を構築することができました。

成長戦略は次のステージへ

- 当社は2020年8月の上場から4年が経ち、技術開発・サービス開発ステージから収益獲得のステージへと進化をすることができました。**持続性の高い「コアサービス」が売上高全体の8割程度**を占めるまでに進化し、サービスのマネタイズが急速に進化しました。
- 2025年度は、当社としてこれまで構築してきた技術力を活かし、**通期営業利益160百万円**の創出に加え、当社として**4期ぶりの純利益**の創出（40百万円）を予想しており、これまでの収益モデルの転換フェーズから成長加速フェーズへの進化を開始することとなりました。
- 上場後、事業モデルの転換期を継続していた当社はこれまで、連結売上高全体のみを開示してきました。持続性のある事業モデルの構築に目途が立った25年度より、事業の内訳を開示することで、**解像度を上げた情報を元に、投資家コミュニケーション**を図ります。具体的には、事業の内訳別では、AIアルゴリズムを自社単独または大企業と共同で推進する**「イノベーション領域」**と、当社コアサービスを自社販売網・提携代理店販売網を活用して提供・運用する**「コアサービス領域」**に分類して開示することとしました。
- 2025年度は、連結での年間売上高成長率は、+3.8%成長と緩やかな伸びにとどまる予想ですが、当社としては、**「コアサービス領域」での売上高を重視**し、急速かつ持続的な成長を推進します。

2025年度 Q1決算ハイライト

- Q1連結売上高は825百万円（対前年同期比+5.7%）で着地しました。成長領域と位置付けるコアサービス領域は、675百万円（対昨年同期比+11.9%）となり、安定した成長を遂げることができました。
- 連結営業損失は9百万円となりましたが、今期は**Q1から損益分岐水準**に到達し、Q2からの営業利益創出に目途を立てることができました。
- イノベーション領域においては、**自社LLMの開発**に加え、**AI Agentの開発**を進め、スピーディーに進化を遂げるAI業界で、最先端の研究活動を推進します。

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

- **当社の事業概要**
- 成長戦略の進化
- 2025年度Q1決算ハイライト

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

ニューラルグループについて

ミッション・果たす使命

「AIで心躍る未来を」

Neural Groupという社名には、AI技術をはじめとする最先端テクノロジーの開発を通じ、幅広い領域で、枠にとらわれない心躍るサービスの提供を目指したいという想いが込められています。リアル空間、バーチャル空間のいずれにおいても、多様なAI技術を活用し、スマートシティや街づくり、働き方改革やエンタメなど、様々な領域で、心躍る未来の社会を実現していきたいと思います。

創業	2018年1月22日
上場	2020年8月20日（東証グロース：4056）
事業内容	AIエンジニアリング事業
本社所在地	東京都千代田区有楽町1-1-2 東京ミッドタウン日比谷32階
子会社	ニューラルマーケティング株式会社、ニューラルエンジニアリング株式会社、ニューラルグループタイランド
拠点地域	東京、大阪、札幌、仙台、名古屋、高松、広島、福岡、バンコク（タイ）
社員数	251名（連結、2024年12月末時点）

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

経営陣の紹介 – AI技術の社会実装を主導するエキスパートチーム

代表取締役社長
重松 路威

- 投資ファンド「ベインキャピタル」を経てコンサルティング会社「マッキンゼー・アンド・カンパニー」パートナー
- 東京大学大学院工学系研究科「工学部アドバイザリーボード」メンバー、経済同友会会員
- 東京大学大学院 工学系研究科修了

取締役 常務執行役員
山本 正晃

- ソニーにて15年間、技術開発や新規事業開発に従事し、2019年より当社参画
- グループアライアンス事業本部 本部長、ニューラルマーケティング株式会社 代表取締役社長
- 東京工業大学大学院機械宇宙システム専攻修了

常務執行役員
一言 太郎

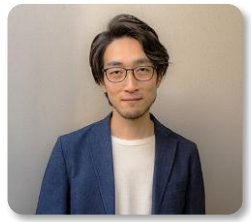
- 国土交通省において、公園緑地、都市計画、スポーツ施設等の政策立案に従事
- 日本造園学会、日本建築学会、自治体（目黒区、静岡市、奄美市、村山市等）、みんなの公園愛護会等の委員
- 東京大学大学院 農学生命科学研究科修了

執行役員
松田 拓也

- 経営コンサルティング会社「レイヤーズ・コンサルティング」において、組織における人材開発戦略の策定や、組織改革プロジェクトを多数主導
- 大阪大学法学部卒業

顧問
松尾 豊

- 東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 教授
- 日本ディープラーニング協会理事長、新しい資本主義実現会議有識者構成員、AI戦略会議座長
- ソフトバンクグループ社外取締役



常務執行役員 CTO
見上 敬洋

- 野村総合研究所にて、画像認識モデルResNetや自然言語モデルLSTM等の先端領域での研究に従事
- 2020年より当社参画、2023年CTO就任
- 東京大学大学院理学系研究科修了（理学博士）、当時の研究領域は理論物理の物性理論

執行役員CFO
木坂 高士

- 三菱UFJ銀行において、本店及びシンガポールにて国内やアジアにおける金融事業全般及び投資判断の管理・企画業務に従事
- 東京大学法学部卒業

執行役員
鈴木 大地

- 野村総合研究所にて、エンタープライズ向け大規模集積システムの設計・構築を主導
- パーソルグループにおいて多数の新規事業構築を経験
- 早稲田大学大学院 基幹理工学研究科修了

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

当社の強み

2020年8月、創業から
2年半で東証グロース
（マザーズ）市場上場

エッジAIにいち早く参画、
NVIDIAのMETRO-
POLISパートナー

AI技術では、映像AI、
音声AIに加え、LLMやAI
Agentにも強みを有する

国土交通省
スマートシティ
官民連携
プラットフォーム
PLATEAU
by MLIT

行政や自治体と連携し、
AI活用や街づくりを
全国規模で推進

全国における顧客販売網
とサービス運用網を有する
希少なAIスタートアップ

自社サービス導入は
全国を対象とし、実績
は12,000件を超える

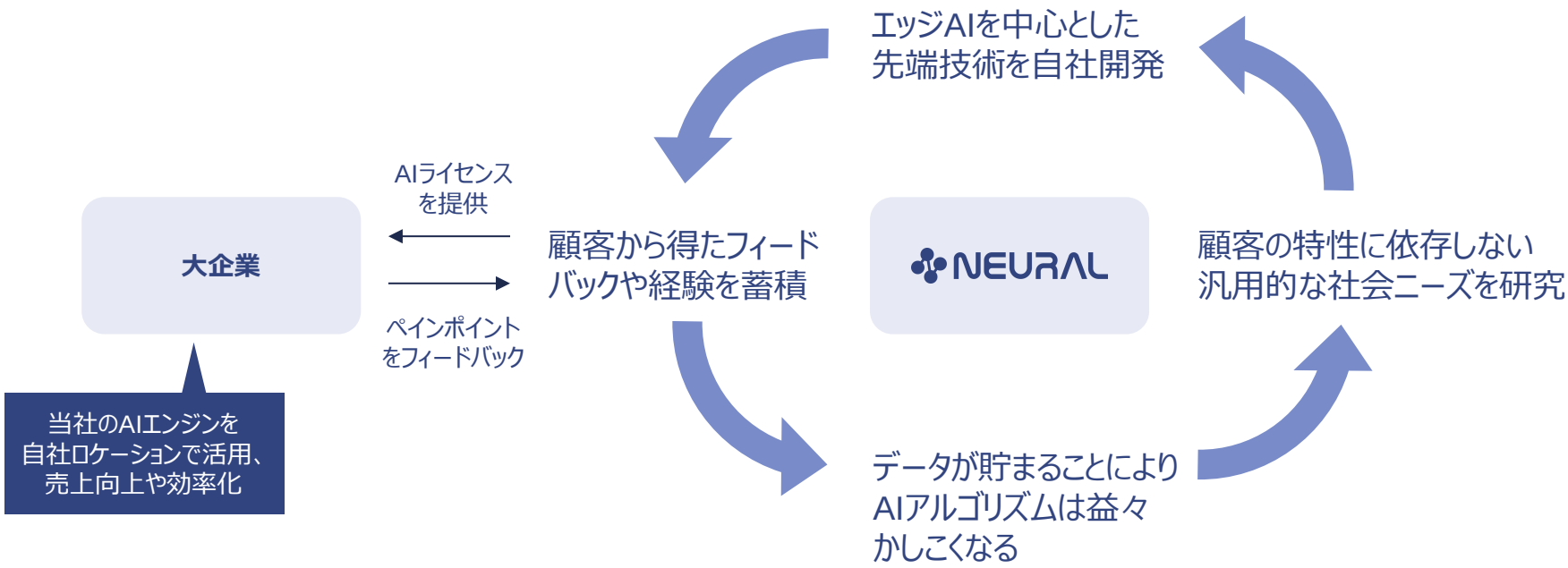
Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

- 当社の事業概要
- **成長戦略の進化**
- 2025年度Q1決算ハイライト

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

2020年8月の上場時の事業モデル

IPO時の事業モデル：エッジAIとした新技術や事業開発



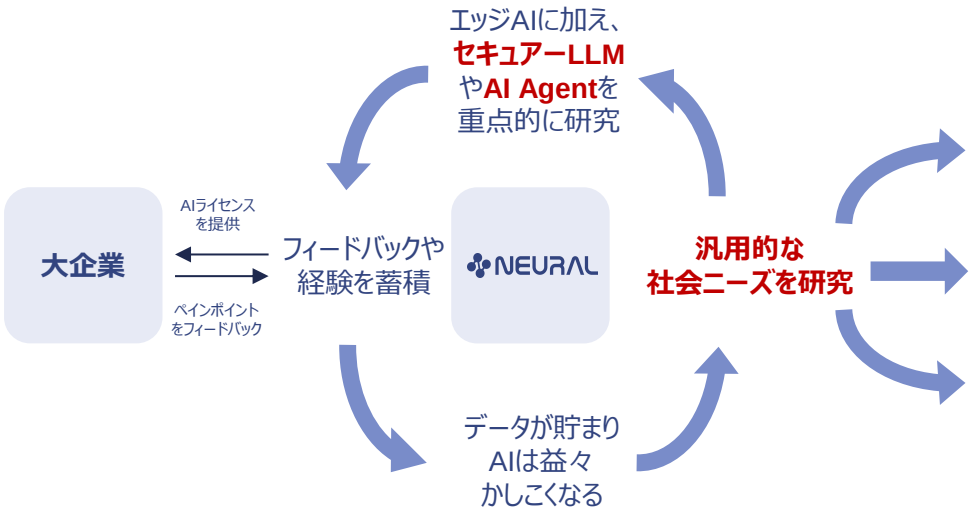
Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

上場から4年を経て事業モデルは進化、次のステージへ

【イノベーションの継続】
AI研究能力を**セキュアーLLM**や**AI Agent**へ拡張

＋

【コアサービスのスケール化】
当社主導でAIサービスを社会に提供



- 自社のセールス網や代理店企業と共同で**スケール化**
- スケールに応じて、**収益性も追従・拡大**
- セキュアLLMやAI Agentを通じて、提供サービスの**データ価値**を更に向上

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

当社の2つの活動領域 – イノベーション領域とコアサービス領域を両輪として事業を推進

イノベーション領域（AIアルゴリズム研究）

- AI AgentやLLM等の先端技術領域の研究活動を企業と共同で推進
- 研究活動と売上創出とを並行

顧客数：~100

密接に連携

コアサービス領域（AIの社会活用）

- 成熟したAI技術や関連技術をサービスとして販売
- 研究で創出された新技術を随時搭載

顧客数：10,000+

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

汎用ニーズを捉えたコアサービスの提供が進む

イノベーション領域

NEURAL.LLM

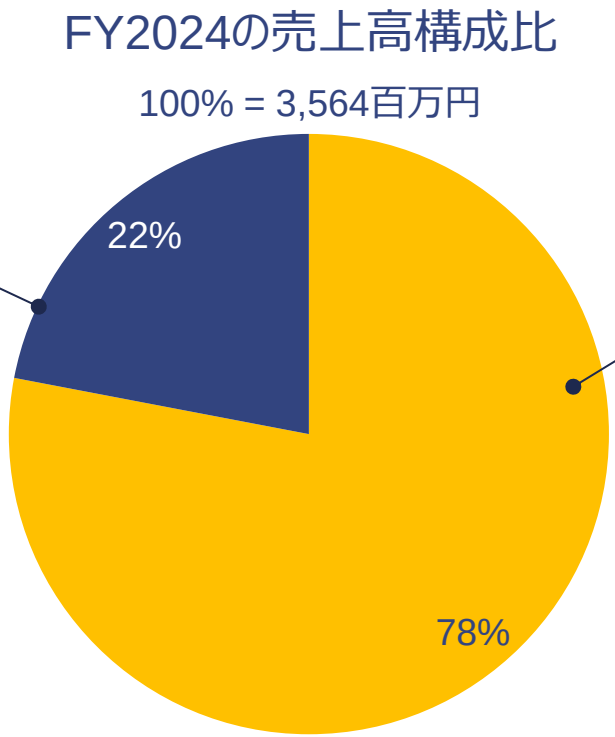
デジスルー

AI MD

AI MEDIA PROVIDER FOCUS CHANNEL

等

- AI MDの研究活動は収束し、収益への貢献も低下
- FOCUS CHANNELの技術はNeural Visionに応用



コアサービス領域

NeuralVision

KizunaNavi

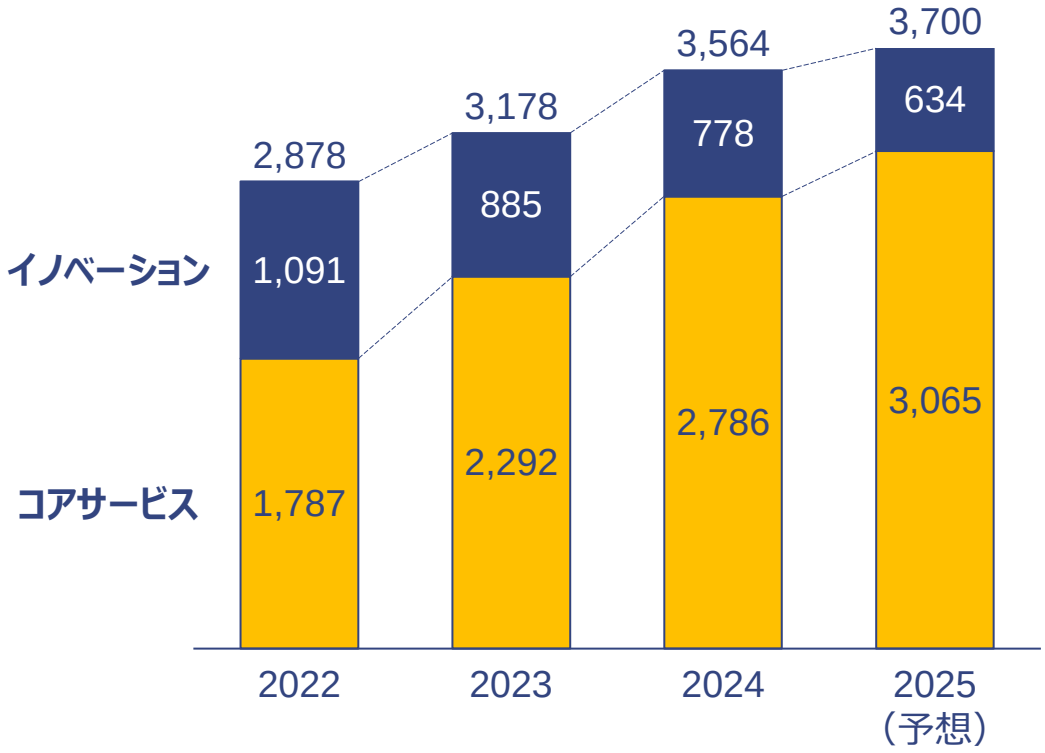
Generative Web powered by ChatGPT

等

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

2025年度における事業領域別の成長戦略の骨子

事業領域別売上高の推移*1



	年率成長率	戦略的方向性
イノベーション	-16.6%	過去3年の新領域創成の成果の積み上がりが寄与し、25年度はテーマの取捨選択が可能に。25年度はLLMとAI Agentの研究を重視。
コアサービス	+19.7%	コアサービスは2022年初頭より順調に成長。イノベーション領域にて生み出された技術も積極的に活用。

*1 顧客との契約から生じる収益に加え、リース取引に関する会計基準に基づく売上高についても事業領域に分解して集計。

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

各領域における対象技術のマッピング

イノベーション領域

- LLM研究（320億パラメーター）
- セキュアーLLM
- AI Agent（プログラム自動生成）
- 画像生成（コンディショニング）
- 最適化AI（ダイナミックプライシング）
- 最適化AI（在庫自動発注）

等

研究ボリュームや売上は、AI業界における新技術創出のスピードや社会環境を鑑み、毎年柔軟に変化させる

コアサービス領域

- エッジAI
- 画像解析
- 音声認識
- 文章生成
- 画像レコメンド
- 人物・アニメ生成

等

スタートアップらしい急速かつ持続的な成長領域として、AIの社会活動を毎年加速させていく

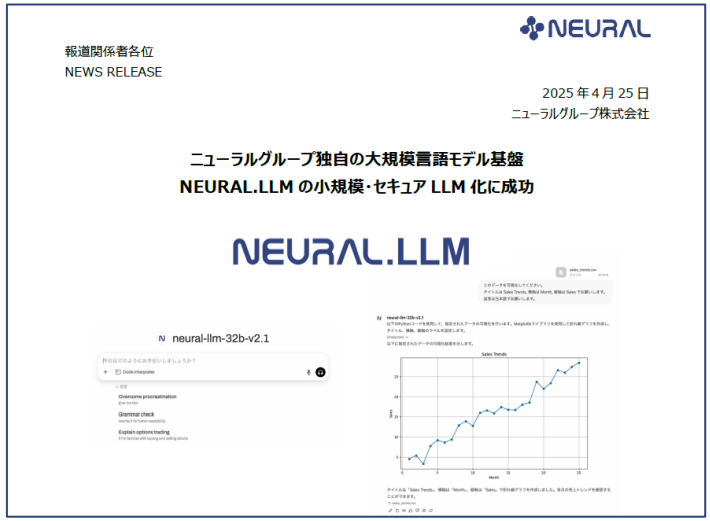
Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

NEURAL LLMのアップデート

2023年6月発表

- 約30億パラメーター
- 研究開発目的

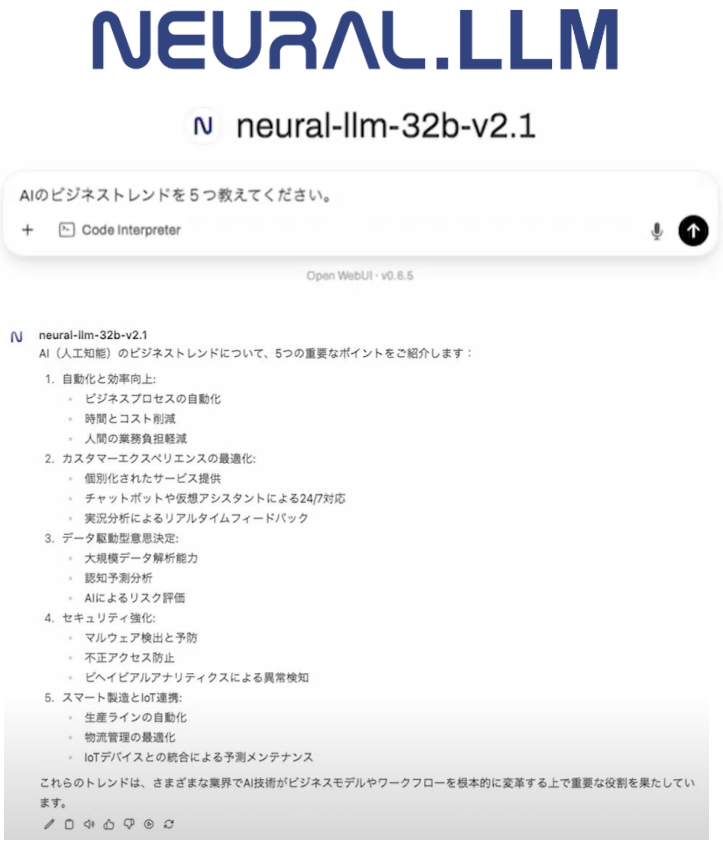
2025年4月発表

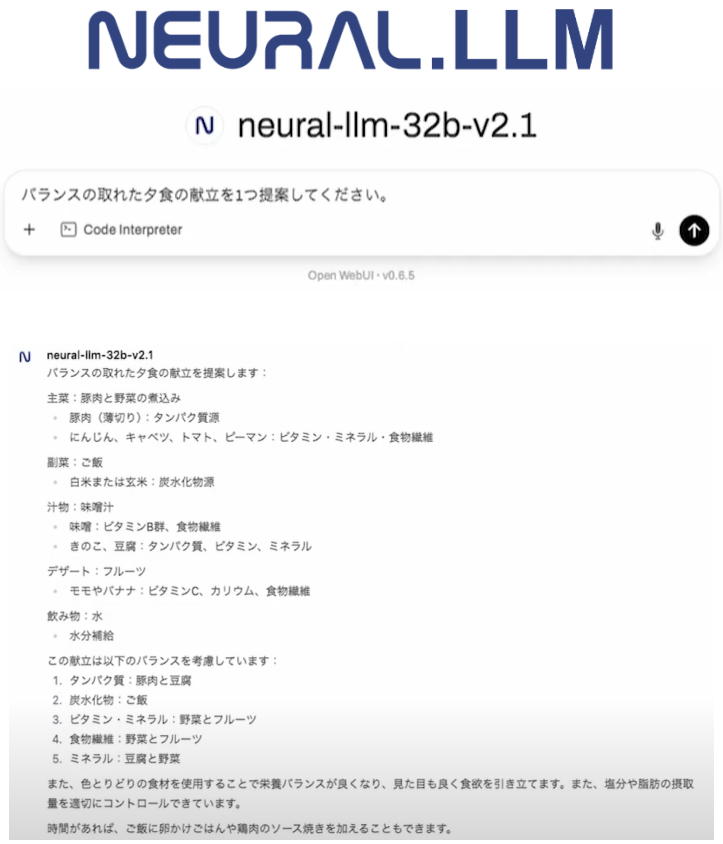


- 320億パラメーター
- 商用活用目的

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

NEURAL.LLMの実動作画面





動作デモのURL:
https://youtu.be/QzmVgvwmilg

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

なぜ当社がLLM実装に強いのか

AIカメラで用いるエッジ端末
NVIDIA JETSONシリーズ

- 2018年より、**エッジAI技術**の開発と運用を先駆けてスタート
- AIアルゴリズムの**小型化**に加え、街なかの**個人情報関連データ**の取り扱いのノウハウを強化
- **セキュアネットワーク**を通じた街情報のメタデータ活用を創業以来全国で展開してきた

強みの横展開

NEURAL.LLMで用いる小型サーバー
NVIDIA A100

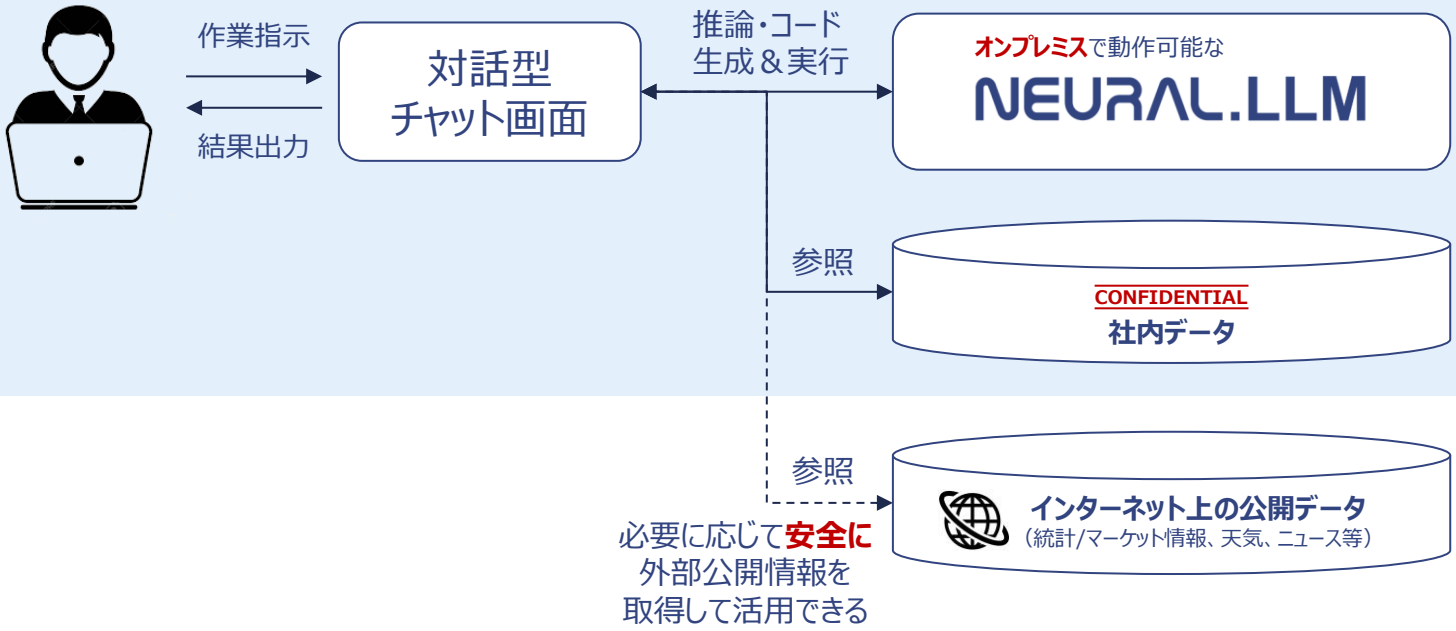
- グローバルに投資の過熱化が進むLLM領域と一線を画し、**小型・セキュアーLLM**に着目
- 進化の早いLLM性能や加速するオープンソース化の時流を受け、**小型LLMを自社で実装**
- エッジAIで構築したセキュリティノウハウを活かし、顧客企業が閉じた**セキュアーネットワーク**でLLMを活用できる体制を構築

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

スタンドアローンなLLMが必要な理由

- 法人でLLMやAI Agentを利用する場合、営業・財務・技術・人事関連の**高度な機密情報**をAIに読み込ませる必要がある。
- クラウド型LLMを利用した場合、**最も分析をしたい社内データ**を機密情報管理上活用できず、効果的なAI技術活用の重大な支障をきたすことがAI活用の可能性の制約条件になってきた。

セキュアな閉域ネットワーク（LAN）内でのLLMの動作



Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

当社コアサービスは、民間・行政・公共12,000か所以上で活用されている

【主要導入先】

民間

- 商業施設
- 物流施設
- 小売店
- マンション
- オフィスビル
- 駐車場
- サッカースタジアム
- 国際スポーツ施設
- 高速道路
- 空港
- 郵便局
- 公園
- 道の駅
- 市役所
- 警察

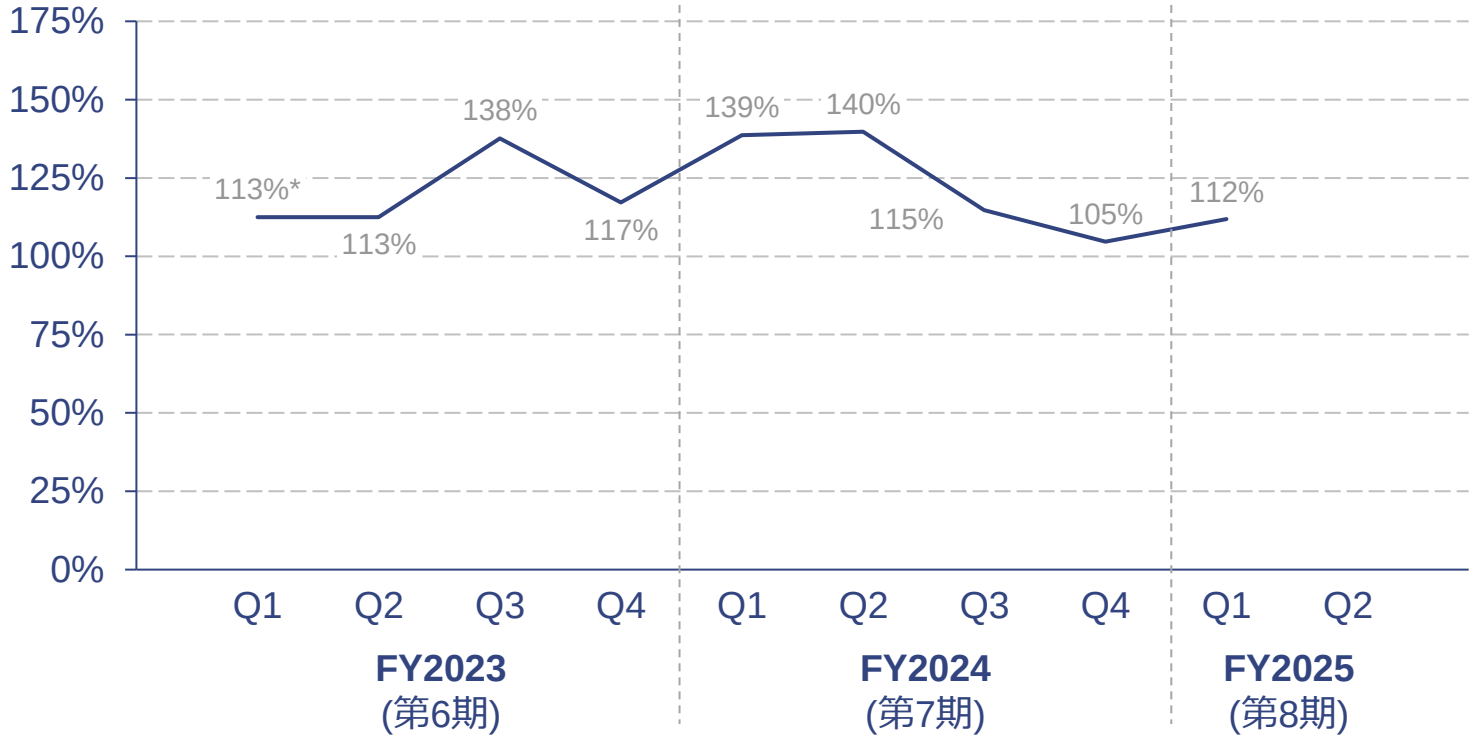
公共

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

コアサービス領域は持続的に成長率を継続

コアサービス領域売上伸長率（対前年同期比）

堅調な顧客需要と顧客の業種・地域の拡大を通じ、
過去9四半期連続で対前年四半期比での売上成長を継続



*1 2022年のQ1期間は、前年2021年度がドメインが未分類のため本データ算出が困難であることから22年Q2⇒23年Q2の成長率を元に試算した参考値。

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

AI企業として類を見ない、全国での販売網を有し、大規模な顧客ネットワークを管理

札幌支店
仙台支店
名古屋支店
あべのハルカス大阪営業本部
広島支店
福岡支店
宮崎出張所
高松支店
ニューラルマーケティング大阪本社
ニューラルグループタイ
日比谷ミッドタウン本社
ニューラルマーケティング東京本社

日本全国と海外に12拠点

グループ人員数251名*1

*1 2024年12月末現在の連結人員数

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

多くの官民団体に加盟し、広いネットワークを活かしてAIサービスを提供を推進

業界団体

経団連

一般社団法人
日本ディープラーニング協会

お役に立ちます！
大阪商工会議所

JCSC 一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

Cappi
駐車場改革推進協議会

一般社団法人
全日本駐車協会

CONSEO
衛星地球観測コンソーシアム
Consortium for Satellite Earth Observation

SENDAI BOSAI TECH

JPB 一般社団法人 日本パーキングビジネス協会
JAPAN PARKING BUSINESS ASSOCIATION

MFLP &LOGI Solution

企業団体

MONET CONSORTIUM

NTT PC COMMUNICATIONS
【Innovation LAB】NTTPCのAIコラボレーションプログラム
Innovation LAB

NVIDIA
NVIDIA METROPOLIS

aws Startup Ramp Member
AWS Public Sector Startup Ramp

Techrum
あしたを、つなぐ ── 野村不動産グループ
BY 野村不動産

行政関係

総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications
デジタル海外展開プラットフォーム

国土交通省
スマートシティ
官民連携
プラットフォーム

PLATEAU by MLIT

東京都 TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT
TDPF
Tokyo Data Platform

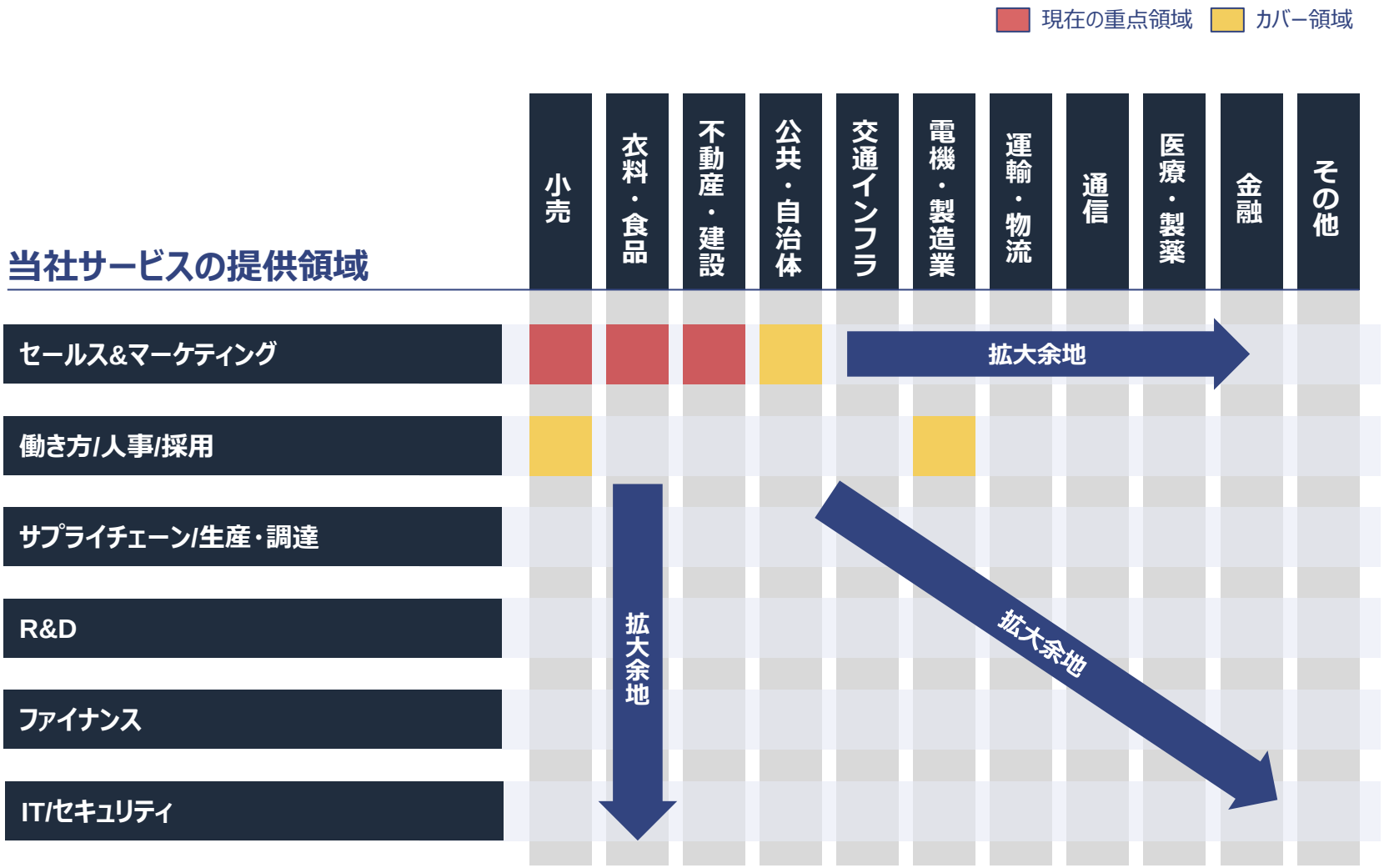
大阪商工会議所
MaaS社会実装推進フォーラム

一般社団法人 スマートシティ社会実装コンソーシアム
SMART CITY SOCIAL IMPLEMENTATION CONSORTIUM

OSAKA SMARTCITY PARTNERS FORUM

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

コアサービスの提供余地の広がりは、広範囲に渡る



Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

- 当社の事業概要
- 成長戦略の進化
- **2025年度Q1決算ハイライト**

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

2025年12月期 第1四半期 連結実績 – 対昨年実績

(百万円)	2024年12月期 Q1実績	2025年12月期 Q1実績	増減額	増減率
売上高	**780**	**825**	**+45**	**+5.7%**
EBITDA	**-63**	**26**	**+89**	**-**
EBITDA%	-	*3.2%*		
営業利益	**-100**	**-9**	**+91**	**-**
営業利益率	-	-		
経常利益	**-114**	**-14**	**+100**	**-**
経常利益率	-	-		
当期純利益	**-109**	**-29**	**+80**	**-**
当期純利益率	-	-		

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

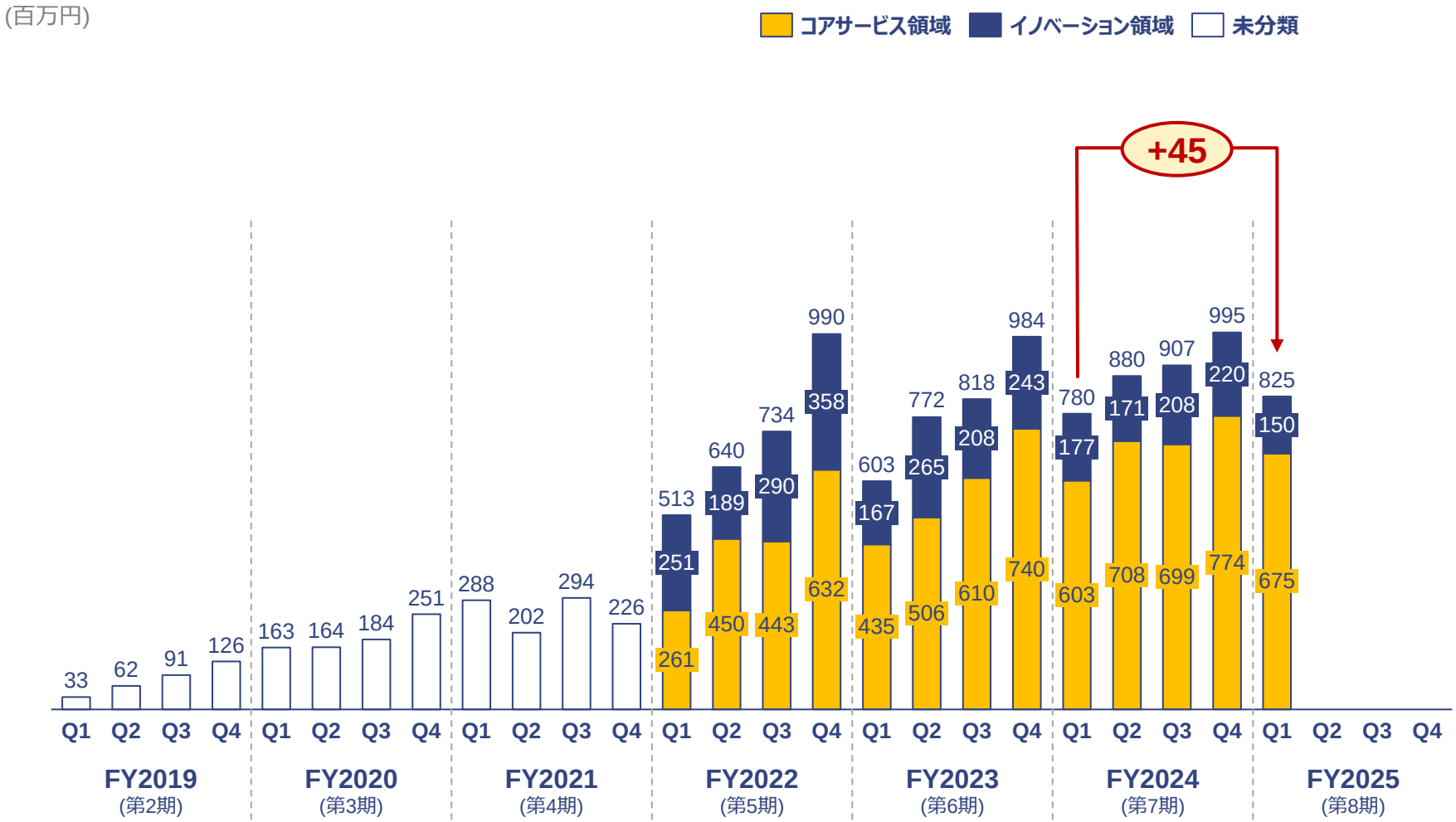
2025年12月期 第1四半期 事業領域別売上高実績 – 対昨年実績

(百万円)

事業領域	2024年12月期 Q1実績	2025年12月期 Q1実績	増減額	増減率
イノベーション領域	177	150	-27	-15.2%
コアサービス領域	603	675	+71	+11.9%
合計	780	825	+45	+5.7%

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

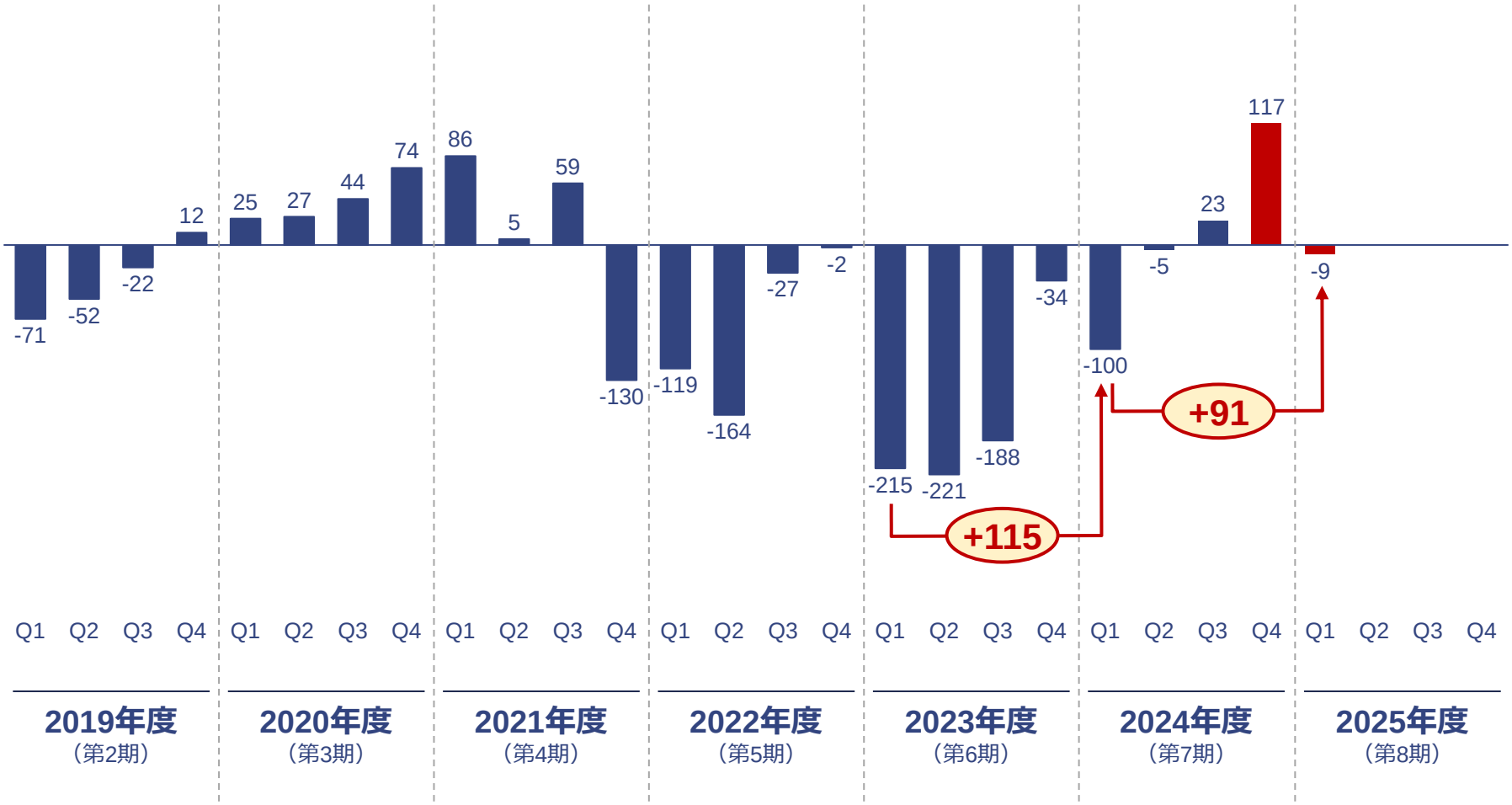
事業領域別四半期売上高の推移



Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

四半期営業利益の推移

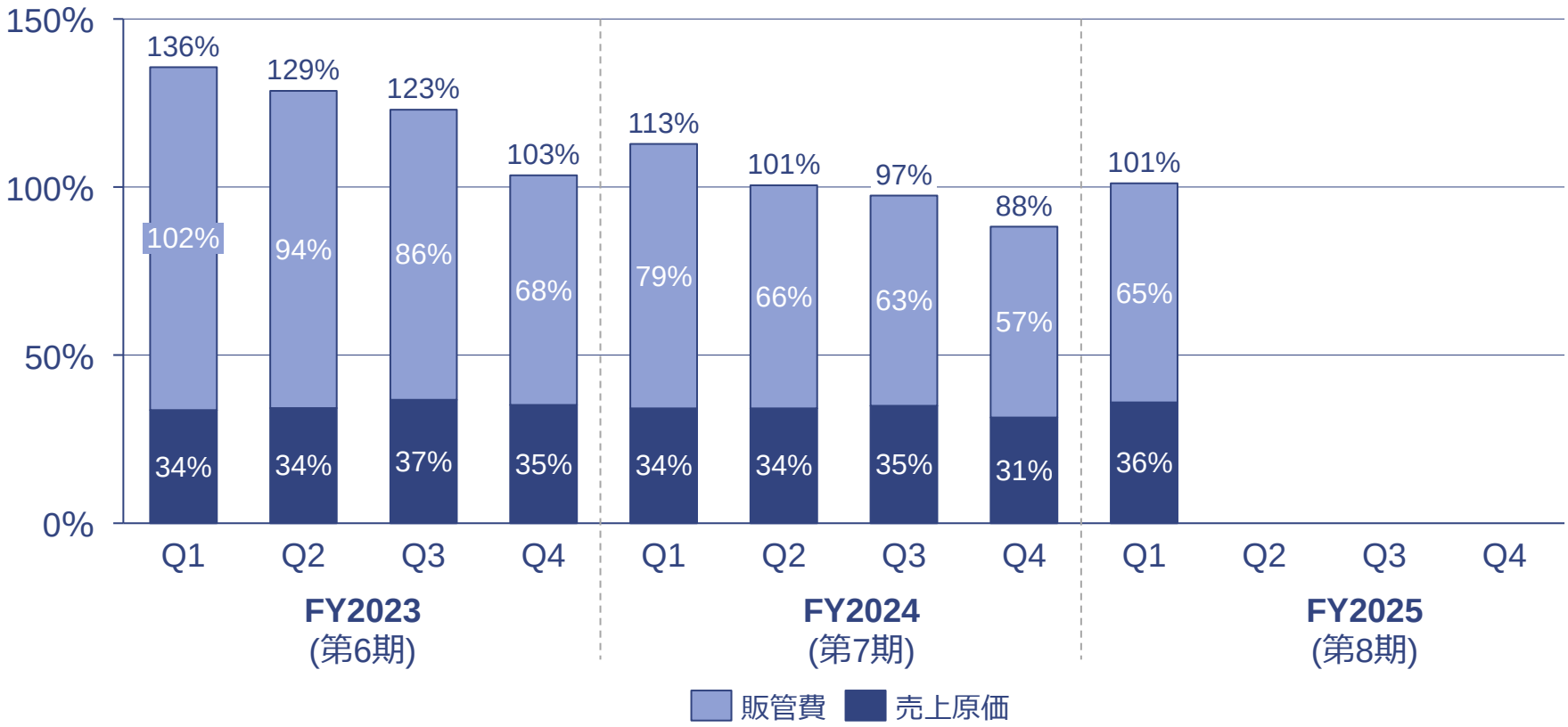
（百万円）



Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

コスト構造／売上対比での売上原価率・販管費率

- 売上原価率は安定的に40%未満の水準（粗利率60%以上）にて推移
- 販管費は、人件費を中心とする固定費を含むため販管費率はQ1→Q4にかけて売上増加と共に減少する構造



Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

業績推移のデータ

（百万円）	FY2023								FY2024								FY2025	
	Q1		Q2		Q3		Q4		Q1		Q2		Q3		Q4		Q1	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
売上高	**603**	**100%**	**772**	**100%**	**818**	**100%**	**984**	**100%**	**780**	**100%**	**880**	**100%**	**907**	**100%**	**995**	**100%**	**825**	**100%**
イノベーション領域	167	28%	265	34%	208	25%	243	25%	177	23%	171	19%	208	23%	220	22%	150	18%
コアサービス領域	435	72%	506	66%	610	74%	740	75%	603	77%	708	80%	699	77%	774	78%	675	82%
売上原価	203	34%	264	34%	300	37%	346	35%	266	34%	300	34%	316	35%	313	31%	296	36%
売上総利益	**399**	**66%**	**507**	**66%**	**518**	**63%**	**637**	**65%**	**513**	**66%**	**579**	**66%**	**591**	**65%**	**682**	**69%**	**528**	**64%**
販管費	615	102%	728	94%	706	86%	672	68%	614	79%	584	66%	567	63%	565	57%	537	65%
営業利益	**-215**	**-36%**	**-220**	**-29%**	**-188**	**-23%**	**-34**	**-3%**	**-100**	**-13%**	**-4**	**-1%**	**23**	**3%**	**117**	**12%**	**-9**	**-1%**
経常利益	**-221**	**-37%**	**-231**	**-30%**	**-192**	**-24%**	**-41**	**-4%**	**-114**	**-15%**	**-5**	**-1%**	**19**	**2%**	**111**	**11%**	**-14**	**-2%**
当期純利益	**-192**	**-32%**	**-172**	**-22%**	**-237**	**-29%**	**-48**	**-5%**	**-109**	**-14%**	**-35**	**-4%**	**-8**	**-1%**	**92**	**9%**	**-29**	**-4%**

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

2025年12月期 第1四半期：貸借対照表

(百万円)	2025年12月期 3月末
流動資産	**1,297**
うち現金及び預金	523
固定資産	**1,426**
資産合計	**2,723**
負債合計	**2,123**
うち有利子負債	1,740
純資産合計	**599**

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

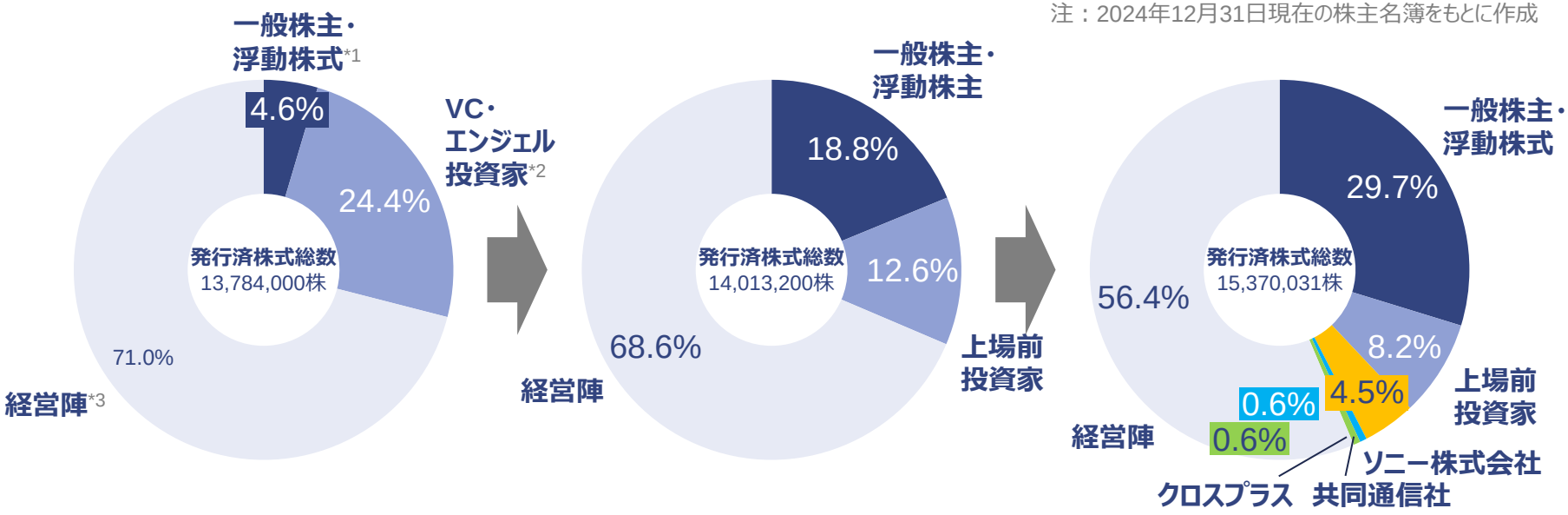
事業シナジー創出を目的とし、大手事業会社との資本提携をこれまで実施

	ソニー株式会社	共同通信社	クロスプラス株式会社
提携発表	2023年4月	2023年12月	2023年12月
提携内容	• 人材・サービス・技術の交流（主にソニー社の人員受け入れ） • AI技術を軸とした、サイネージ関連事業及び人体の態度検知に関連する協業と新規事業の事業化を目指す	• 子会社の共同通信デジタル社はデジタルサイネージ向けコンテンツ提供国内最大手 • サイネージを活用したサービスや広告メディアでの協業を推進	• 当社創業来、ファッショントレンドAI分析をはじめとするアパレル業界における協業 • 双方の既存サービスの拡大に加え、AI技術を活用した新サービスの開発を目指す

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

株主の多様化が進む

注：2024年12月31日現在の株主名簿をもとに作成



2020年8月20日（上場時点）

2020年12月末日（上場後）

2025年3月末日（現在）

*1 2020年8月20日時点の発行済株式総数13,784,000株に占める、公募株式数415,000株と売出株式数215,800株（オーバーアロットメントを含む）合計に加え、上場前からの株主や経営陣等の売却株式数から算出。
*2 会社独自調査の結果認識している上場前からの株主（VC投資家、エンジェル投資家）の保有株式。
*3 当社経営陣の保有株式数

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.

免責事項

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

Copyright © Neural Group Inc. All Rights Reserved.